

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員と地域おこし協力隊員からお知らせします。

営農指導員の ワンポイントアドバイス

番外編

このコーナーは、営農指導員から農業のちょっとしたコツをお知らせしていますが、今回は作った野菜などを出荷できる「産直市」の紹介をします。

「東城きんさい市」へ出荷してみませんか？

●東城きんさい市とは

中国自動車道東城ICの南、「道の駅遊YOUさろん東城」に隣接する産直市です。

店内には、東城町産にこだわった農産物や加工品・工芸品などを数多く販売しています。

また、店内の一角にある実演販売施設「比婆」では、大判焼きや人気のソフトクリームなど、地元産品を使用したメニューの販売を行っています。

平成7年に12人の出荷会員で開始した産直市でしたが、現在は会員数が150人を超え、年間約7万人の方が訪れます。

▼年中無休（年末年始除く）

▼営業時間 8時～18時（12月～3月は17時まで）

●店舗外への幅広い販路があります

保育所や小・中学校給食への食材供給をしており、食育への取り

組みを行っています。

都市部や町内の小売店や仲卸しなどにも納品しており、大量に生産された商品でも余すことなく出荷ができます。また、珍しい野菜を取り扱うレストランなどへの納品もあり、多品目栽培に取り組んでみたい方への対応ができます。店内商品には、全農広島共通のラベルを使用しているため、全農の産直市へも出荷が容易です。

●出荷をするには

町内産にこだわっているため、東城町内の生産者に限られます。まずは、東城きんさい市運営協議会へご連絡ください。

▼入会金1万5千円（年会費不要）
▼会員には年に2回程度、消費者との触れ合いを目的に、店頭での販売の補助をお願いします。



問い合わせ

東城きんさい市運営協議会

☎08477・2・4840

東城支所産業建設室

☎08477・2・5008

女性からはじめる 獣害対策

地域おこし協力隊 草谷 夏枝

いよいよ「兵糧攻め」の時期

田んぼや畑のあぜの草刈りは、やめましたか？

イノシシの被害に遭っているところは、草刈りしたい気持ちもぐつと抑えて、冬の間は「冬枯れ」させましょう。そのためには、スキヤチガヤが伸びてきても、もう刈らないことです。

少々寂しい冬の景色にはなりませんが、枯れたスキヤチガヤは動物の餌になりません。冬も草刈りをするとうる草が生え、それが動物の餌となり、その場所で餌を食べられると動物に学習させることになります。

もちろん、田んぼでは「ひこばえ」も食べさせないように、メッシュの入り口を閉め、電気柵の電気も入れたままにしましょう。



ウサギが食べた痕跡。ウサギが増えると春に稲の苗が被害に遭います。放置果樹は切ったり実を拾ったりして、食べさせない対策を！

女性ができる獣害対策を「みんなでわくわく活動」に！

集落の柿をとったり、栗を拾ったりすることは女性でもできますが、一人では大変。そのときにちよつと周りの人に声を掛けてみませんか。

西城町では数人で干し柿を作ったり、三日市町では鳥獣の勉強会の参加者で栗を拾ったりしました。2～3人でも一緒に数十分作業すると、楽しさや充実感が得られます。まわりで声を掛け合って放置果樹をなくしましょう。



共同畑ではサツマイモが大豊作！焼き芋、大学芋…いろんなメニューを想像するとたのしいね！

女性がやればずんずんすむ
女性限定鳥獣被害対策講習会

とき 11月30日（木）13時～
ところ 庄原市ふれあいセンター（コパリホール）

問い合わせ

林業振興課林業振興係

☎0824・73・1124